

マグちゃん通信

2019 8 - 9 vol. **57**

絵本作家インタビュー あべ弘士
特集 絵本をひらく



寄贈絵本のご紹介

ご寄贈いただいた最新絵本の中からスタッフのおすすめの絵本をご紹介します。



『もったいないばあさん
かわとゆく』
真珠まりこ／作・絵
講談社



『1日10分 見る力を育てる
かたちのえほん』
あきやまかせさぶろう／作
えほんの杜



『らくごえほん てんしき』
川端 誠／作・絵
KADOKAWA



『トカゲのともだち』
あさおよう／作・絵 フレーベル館



『ひみつのピクピク』
フランチェスカ・サンナ／作
なかがわ ちひろ／訳
廣済堂あかつき



『へんどうぶつえほん
ぼくたちハダカデバネズミ』
平田昌広／文 平田 景／絵
汐文社



『えほん 東京』
小林 豊／作・絵
ポプラ社

おうちで紅茶を飲みながら読書することをごよく愛するトカゲのお話。このトカゲ、なんと立って歩いてしゃべります。ある日、トカゲのおうちに人間の男の子がやってきました。茂みをかき分け、のぞきこんでいる男の子の大きな顔！トカゲの視線で描かれた大胆な構図と男の子のリアルな表情に思わず息を吞みます。ひとりの時間はもちろんいいけど、誰かと過ごす時間も素敵。そう思わせてくれる1冊。第9回武井武雄記念 日本童画大賞絵本部門 大賞受賞作品。

絵本館日記



5月1日(祝)

時に、初春の令月にして、気淑く風和ぎ、

梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫す 大伴旅人
新元号「令和」が始まりました。万葉集から採用された美しい言葉に心がシャキッとなり、気持ちも新たにしました。

5月5日(祝)

おむらいすさんの紙芝居＆南京玉すだれのパフォーマンスがありました。子供はもちろん大人も目をキラキラさせておられ、最後の曲ではみなさん合唱とダンス！会場一体となった光景に感動してしまいました。

5月19日(日)

ばらの香りコンサートがあり、たくさんの方が来場されました。フルート、ハープ、箏の演奏のほか、絵本朗読もあり皆さん聞き入っておられました。薔薇のプレゼントもあり美しいお花ととてもいい香りにすっかり癒されてしまいました。

6月5日(水)

もうすぐ梅雨入りでしょうか。空気が重く感じられます。湿気は苦手ですがあじさいを見られるのは楽しみです。幼少期に大好きだったいもとうこさんの絵本にあじさいと動物が描かれたものがあり、いつも眺めていたのを思い出しました。

6月8日(土)

シアターでコトリンゴさんのライブがあり参加してきました。ピアノと声だけが響き渡るとても贅沢な空間にすっかり酔いしれてしまいました。令和初ライブ、心に残る時間になりました。

(記録・浦上)

利用案内

開館時間	9:30～17:30	交通案内	北陸自動車道小杉I.C.より車で10分 富山きときと空港より車で40分 あいの風とやま鉄道小杉駅より車で5分 ※新幹線はJR富山駅またはJR新高岡駅下車 富山地鉄バス・富山高岡線「赤井口」下車徒歩7分
休館日	毎週月曜日(祝日の場合翌日) 月1回資料整理日 年末年始(12月28日～1月4日)	駐車場	約60台
入館料	大人600円、高校生300円、小中学生100円 ※団体20名以上は割引あり 団体幼児はひとり50円 ※各種福祉手帳をお持ちの方は無料	貸館	カフェギャラリー、シアターは貸しスペースです。 個展、コンサート、発表会などにご利用ください。
フリーパス	個人フリーパス 年間1200円 親子フリーパス 射水市在住で、小学生未満のお子様の保護者の方は無料 いみず市こどもフリー 射水市在住の中学生以下は無料。	講座	絵本作りや読み聞かせ、講演などの出前講座を行っています。



射水市大島絵本館
OSHIMA MUSEUM OF PICTURE BOOKS
マグちゃんは絵本館のシンボルマークです

〒939-0283 富山県射水市鳥取50
TEL 0766-52-6780 http://www.ehonkan.or.jp
FAX 0766-52-6777 E-mail ehonkan@po9.canet.ne.jp

あべ弘士

絵本作家デビュー30周年。

チノミシリ(われらの祈る山)とよばれる

アイヌの聖地が眼前に広がるアトリエで

「命」をふきこんだ絵本を描き続ける。



あべ弘士(あべひろし)プロフィール

1948年北海道旭川市生まれ。旭川市在住。
1972年から25年間、旭山動物園の飼育係として様々な動物を担当する。飼育係たちの間で話しあった「行動展示」の夢を絵として残し、旭山動物園復活の鍵となった。
1996年動物園を退職し、現在は絵本作制を中心に、全国でワークショップなども行なっている。2011年には、旭川市を拠点とした「ギャラリーブルブル」の運営をはじめ、アートを通して子ども大人も楽しめるまちづくりに励んでいる。
著書に、『あらしのよるに』(きむらゆういち/作 講談社 講談社出版文化賞絵本賞受賞)、『ゴリラにつき』(小学館 小学館児童出版文化賞受賞)、『宮沢賢治「旭川」より』(BL出版 産経児童出版文化賞美術賞受賞)、『クマと少年』(日本児童ペン賞絵本賞・北海道ゆかりの絵本大賞受賞)など多数。

絵本原画展開催

令和元年7月20日(土)~9月19日(木)

原画展示絵本



「クマと少年」(プロダクション)
母さんのおっぱいをいっしょに飲んで、本当の兄弟のように育てられたアイヌの少年とクマのキムルン。いっしょに野の花で遊び、虫や魚をおいかけた。キムルンが大きくなった頃、アイヌの人々にとつての最高神であるクマを天に帰す儀式「イオマンテ」がやってきて...

夏のギャラリーでは、山の神クマとアイヌの少年をめぐる壮大ないのちの物語「クマと少年」とユニークな治療法が楽しい「ねこのおいしゃさん」の2冊をご紹介します。

あべ弘士先生にインタビュー



絵本作家になられたきっかけは?

神沢利子さん、田島征三さんとの出会いです。

画材は何を使っているのでしょうか?

ありとあらゆるものです。たとえば、クレヨン、色鉛筆、インク、ペン、パステル、水彩絵の具です。ただ、油絵の具はほとんど使いません。

今回、原画を展示する絵本の制作秘話や思い出を教えてください。

「クマと少年」

こんなに苦労した作品ははじめてでした。アイヌの人たちの文化、哲学を間違いないように、失礼のないように描くのに10年以上かかりました。(本のあとがきを参照してください。)

「ねこのおいしゃさん」

ケロポンズ増田裕子の最高作に近づけた絵本です。「ニヤニヤニヤ」の気合いがいいですね。

今まで手がけられた絵本の中で、一番印象深い絵本は?

「おとせおんど」(作/かんざわとしこ 福音館書店)。30年前の私の処女作です。

絵本をお作りになるときのこだわりは? いかにして、命をふきこむか。

絵本を通じてお伝えになりたいことは? 特にありません。自由に読んでください。

今後どのような絵本を描いていかれますか? 向こうからやってくる、何者かをアンテナを張って準備し、それを待っています。

ご趣味についてお聞かせください。
猫と遊ぶことです。

好きな言葉をお聞かせください。

「左手をかます」動物園時代、オオカミをつかまえる時、左手をかまして(犠牲にして)右手でつかまえました。先輩の飼育係に教えてもらいました。

ファンの皆さんへメッセージをお願いします。
色々な絵本をたくさん楽しんでね。

あべ弘士先生、ありがとうございました!

あべ弘士先生のサイン入り絵本を3名様にプレゼント

- 「クマと少年」(1名様)
- 「ねこのおいしゃさん」(2名様)



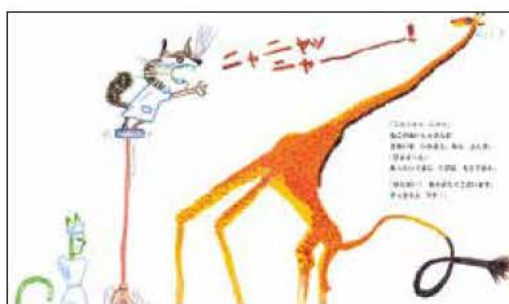
「クマと少年」(プロダクション)



「ねこのおいしゃさん」(そうえん社)

応募方法 氏名、住所、電話番号と、ご希望の絵本のタイトルをご明記のうえ、ハガキでご応募ください。
あて先 〒939-0283 射水市鳥取50 射水市大島絵本館
あべ弘士 サイン本プレゼント係
締め切り 令和元年10月10日 消印有効

※発表は発送をもって代えさせていただきます。



「ねこのおいしゃさん」
(ますだゆうこ/文 そうえん社)
ねこの医者さんは、どんな病気も気合で治してしまいます。今日もたくさん患者さんを診察しました。休憩を取ろうとしたその時、お手伝いをしてくれているやさしいおくんが苦しそうにおなかをおなかがいたい〜と...

募集がはじまるよ!

おおしま国際手づくり絵本コンクール2019

ジュニアの部

募集期間 **8月30日(金)～9月8日(日) 必着**

募集内容 **未発表の手づくり絵本**
(過去1年以内に制作したものでテーマは自由)

募集資格 **作者が高校生以下であること**

募集部門 **①園児の部 ②小学生の部 ③中学生の部**

※詳しくはお問い合わせください。

募集中 公開講座「絵本をひらく」全4回

「絵本をひらく」と題して、多彩な講師陣による公開講座を開催します。これから絵本をひらこうとしている方、すでにひらいて読み聞かせ活動をしている方、どなたでもお気軽にご参加ください。

※本講座は、4回通しての受講をおすすめします。

- 1 9月6日(金) 13:30～15:00 「絵本の楽しさ」
講師: 大西 裕美子 (独立行政法人「国立青少年教育振興機構」絵本専門士)
- 2 9月13日(金) 13:30～15:00 「読み聞かせ1 意義・選書」
講師: 生田 美秋 (高志の国文学館事業部長/絵本学会理事/絵本専門士養成講座講師)
- 3 9月20日(金) 13:30～15:00 「読み聞かせ2 実践」
講師: 波賀 穂 (絵本出版振興会編集長/絵本専門士/絵本専門士養成講座講師)
- 4 9月27日(金) 13:30～15:00 「絵本の可能性」
講師: 尾木沢 響子 (小松市立立花こども絵本館長)

●定員/30名程度(一般対象)
●受講料(入館料、ドリンク代、資料代を含む)
全4回受講: 4,500円(初回に徴収します)/単発での受講: 各回1,600円

○詳細は射水市大島絵本館までお問い合わせください。

夏休み製本教室

たった2時間でハードカバーの製本をマスターできます。

部品のよい日を1日選んで予約してください。

7月	27日(土)、28日(日)、30日(火)
8月	4日(日)、6日(火)、12日(月・振) 14日(水)、20日(火)

時間▶各回9:30～11:30
受講料▶2,000円(材料費、入館料込)
※絵や物語の制作は含まれません。

10・11月イベント

いのちの絵本2019

「いのち」をテーマとした絵本朗読イベント。
とき/11月10日(日) 13時30分
料金/大人2,000円 3歳以上・高校生800円
出演/若村麻由美(女優) 村上信夫(アナウンサー)

カフエギャラリー

カービングつてな〜展
とき/10月2日(水)～10月16日(水)
野村瑞穂 陶展
とき/10月17日(木)～10月30日(水)
Jam Works 展
とき/11月1日(金)～11月15日(金)

「煌くガラスのヒメ」

ミロタカハシアキコ
とき/11月16日(土)～11月29日(金)

ギャラリー

町田尚子 絵本原画展
とき/9月21日(土)～11月21日(木)

展示原画
「さしきわらし」(京極夏彦/文 汐文社)
「なまのないうね」(竹下文子/文 小峰書店)

イベントレポート

ばらの香りコンサート 5/19



第1部は「クラシックステージ」。射水市在住の吉田春代さんらおなじみのメンバーが「クリスタル」(ド・アティ作曲)、「炎」(求道)、「宗次郎作曲」などを披露。フルート、オカリナ、のびる、ハープ、ピアノ、それぞれが持つ情感豊かな音色で観客を魅了しました。

第2部は「音楽と絵本朗読」。スクリーンに大きく映し出された絵本画像を背景に、絵本館スタッフが「しあわせなうさぎ」(フレール館)を朗読。物語のイメージを広げる楽曲が、明るく、悲しげに、おだやかに、童話の世界をより深く心に刻み込みます。

バラが演奏をより美しく、演奏がバラをより美しく…。音楽とバラの美しさを贅沢に味わう優雅な一日となりました。

創作教室レポート

第1回「びっくり☆プレゼント」 4/27・28



10連休の幕開けは絵本館で過ごす、大勢の親子が創作教室に参加してくださいました。今回作ったのはしかけの箱。ふたを取ると本体が広がり、絵やメッセージ、花や折り紙などの立体物が現れるというびっくり箱のようなプレゼントボックスです。母の日や、家族の誕生日プレゼントにしよう、相手の喜ぶ顔を思い浮かべながら作る人、生き物やキャラクターを描いてものしり絵本ボックスにする人など、工夫を凝らして思い思いに工作を楽しんでくださいました。かわいいシールで飾り付けもして、とってもおきのプレゼントが出来上がりました。

*創作教室は親子で「つくる」ことを楽しむ教室です。登録家族募集中!

特集 / 絵本をひらく



生田 美秋
富山県立高志の国文学館事業部長
絵本学会理事、絵本専門士養成講座講師

読み合い・読み語りの大切な原則

あなたが誰かに絵本を読むときに大切にしていることはなんですか。わたしが大切にしている読み合い(読み手と聞き手が対一の関係)、読み語り(聞き手が複数の場合のポイントについて書いてみようと思います)。

一、絵本は子どもの言葉と心の発達です。絵本の意義は子どもの発達段階によって変わります。赤ちゃんの頃は、親子で絵本を読み合い、一緒に楽しむstage booksの時期で、愛着関係の確立と情緒を育むことが大切です。二歳以降読み語りを楽しむstage booksの段階に入り、言葉を獲得し、想像力、社会性、論理的思考力を養う時期を経て、幅広い知識の獲得へと進みます。十歳前後には、一段上から物語を観察し、自分の感情をコントロールするメタ認知能力を育むことが大切です。それぞれの発達段階で子どもの伸びようとする力を後押ししてくれるのが絵本です。

二、絵本は身近な大人が子どもに読み合い、読み語る本です。絵本は子どもが自分で読む本ではなく、保護者や保育士など身近な大人が基本的な信頼関係を基礎に読み合い、読み語る本です。文字の読めない子どもは、読み手の声に耳を傾け、絵を読み解きながら絵本を楽しみます。

三、絵本は大人が責任を持って選び、読み合い、読み語りは読みつづなします。幼い子どもには絵本を選ぶ力はありません。子どもの発達段階や興味・関心に配慮してよい絵本を選んで読むのは大人の役目です。読み手が本当におもしろいと実感した絵本を読みます。子どもが大きくなり自分で選ぶようになります。

四、同じ絵本を繰り返し読むことが子どもの言葉と心を育む体験になります。子どもは好きな絵本を何度も読んでほしいとせがみます。遊びにも見られる幼児期に特有の現象で、繰り返し読むことにより言葉と物語体験が子どもの心に深く浸透していきます。読み語りをしていると、読み手と聞き手の間に糸が張られたような独特の状態になることがあります。感情移入を経て感情投入の状態にあることを示しています。

五、絵本の読み合い・読み語りの絵本には旬があります。その絵本は何歳ごろに読むのがよいか、季節はいつがふさわしいか、子どもの気持ちにぴったり合うタイミングを図りながら読んでください。お散歩、夏休み、お月見、運動会など実体験から絵本(仮想体験)へ、絵本から実体験への不断の相互作用が成長期の子どもの言葉と心を豊かに形成していきます。

家庭での読み合いは時間を決め、定期的に図書館に行く習慣をつけて下さい。読み語りを行う場合は、下読みをし、絵を読み解く習慣をつけるようにします。絵本は子どもがはじめて出会う本だからこそ最高のものを選んでください。一冊の絵本との出会いが、子どもにとって、家族にとって思い出の詰まった一生の宝物になることを願っています。

私のおすすめ絵本

『三びきのやぎの がらがらどん』 ノルウェーの民話 マーシャ・ブラウン/え せたていじ/やく 福音館書店 山の草場に向かう三びきのやぎと立ちはだかるトロール。子どもは物語を通して生きる勇気と知恵を学ぶ。磨き抜かれた語りと人間の数智の詰まった昔話絵本が生きる力を育む。	『もりのなか』 マリー・ホール・エッツ/ぶん・え まさきりこ/やく 福音館書店 森に散歩に出かけ、動物たちとたっぴり遊ぶ子どもの豊かな時間を描く。幼い子どもは現実とファンタジーの世界を自由に行き来しながら物語を蓄え、想像力を養っていく。	『もこもこもこ』 たにかわいゆんたろう/さく もとながさだまさ/え 文研出版 「もこもこもこ」の言葉のリズムと響きにあかちゃんは夢中。一歳を過ぎると言葉に反応して体中で喜びを表現する。言葉の意味を理解する以前のあかちゃんを読み合う絵本。
『スイミー』 レオ・レオニ/作 谷川俊太郎/訳 好学社 「小さな賢い魚のはなし」を、物語にふさわしい線や形、構図や絵本表現などの視覚的なアイデアを凝らして絵本の楽しさを伝える。大切なのは、よく見ること、よく考えること。	『いいいおうち』 バージニア・リー・バートン/さく・え いいいももこ/やく 岩波書店 丘の上の小さな家。四季の移ろいに彩られた穏やかな日々。しかし小さな家の周りにはどんな都会になり、幸せは失われる。時代の流れの中で真の幸せとは何かを絵で表現する。	『かいじゅうたちのいるところ』 モーリス・センダック/じんぐうてるお/やく 富山房 子どもは解決できない心の葛藤を抱えたとき、空想の世界に向かう。そこで折り合いをつけて心の平安を回復し、現実の世界に戻る。それを発見し、心の内面のドラマを表現した。